

平成 27 年度決算 事業等説明資料

(単位：円)

会計名		下水道事業特別会計				
設置目的		公共用水域の保全と生活環境の改善				
決 算	項 目	決算額			増減内訳・理由	
		H27	H26	増減		
	歳入①		1,614,453,649	1,327,572,484	+286,881,165	下水道使用料（現年度分） +2,444,712
						国庫補助金 +99,844,980
						一般会計繰入金 +54,237,591
						市債 +114,700,000
		うち一般会計繰入金	451,257,517	397,019,926	+54,237,591	
	歳出②		1,614,304,089	1,327,469,724	+286,834,365	流域下水道維持管理負担金 +31,724,924
						公共下水道施設整備事業 +214,350,923
		流域下水道建設負担金 +1,321,877				
		市債償還元金 +47,663,398				
		市債利子 △11,380,817				
	翌年度に繰り越すべき財源③	149,560	102,760	+46,800		
	実質収支（①－②－③）	0	0	0		
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備事業に係る前年度からの繰越事業費の増等により、歳出総額は増加した。</li> <li>・一方、歳入総額も、上記に伴う国庫補助金及び市債の増等により増加した。</li> <li>・また、一般会計繰入金については、下水道使用料（現年度分）が微増となったものの、流域下水道維持管理負担金や公債費（元金）が増となったことから、前年度に比べ約 54,200 千円増加した。</li> </ul> <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 年度の施設概成に向けて整備を進めており、H27 年度は 6.0ha の整備を行い、H27 年度末の面積整備率は 83.0%（対前年度比 +18.7%）、人口普及率は 65.5%（対前年度比 +1.0%）となった。※面積整備率の対前年度比 +18.7% は H28 年 3 月の計画変更（639.3ha→502.7ha）によるところが大きく、実質的な伸び率は +1.2% である。H27 年度末の水洗化率は 82.7%（対前年度比 +2.0%）となった。</li> <li>・H27 年度末の市債残高は 9,717,516 千円（対前年度比 +26,061 千円）</li> </ul>					
	備考					
担当室・係	建設部 上下水道課 管理係			TEL	0772-45-1633	特-7